

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
証券コード	8892
定時株主総会開催時期	3月下旬
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 なお、中間配当を行う場合、中間配当受領株主確定日は6月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
単元株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
住所変更等のお申出先について	口座をお持ちの証券会社へお申出下さい。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
公告方法	電子公告(http://www.es-conjapan.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。



株式会社
日本エスコン
IDEAL to REAL

<http://www.es-conjapan.co.jp/>

お問い合わせ専用番号：06(6223)8055 受付時間：土日祝日を除く平日9:00～18:00

東京 本社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台四丁目2番5号 トライエッジ御茶ノ水12F
Tel. 03(5297)6161 Fax. 03(5297)6162
大阪 本社 〒541-0044 大阪市中央区伏見町四丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル13F
Tel. 06(6223)8050 Fax. 06(6223)8051



ES CON JAPAN REPORT 22

第22期 株主通信

2016年12月期 第2四半期



株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度当社は、2016年6月23日をもって、東京証券取引所市場第1部指定となりました。

株主様をはじめ、関係各位の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当期も当社グループは、引き続き分譲事業を中核に、多面的な事業展開を推進することにより、前年度を上回る業績で推移しております。

今後も、分譲事業、商業開発、ホテル開発事業等を着実に推進するとともに、商業施設の底地を主要な投資対象とする総合型投資法人を設立、上場に向けた準備を進める等、次なる成長戦略の取り組みを図り、総合デベロッパーとしてさらなる成長に努めてまいります。

皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

MESSAGE



2016年第2四半期業績実績

売上高	12,541百万円
営業利益	1,844百万円
経常利益	1,379百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,544百万円

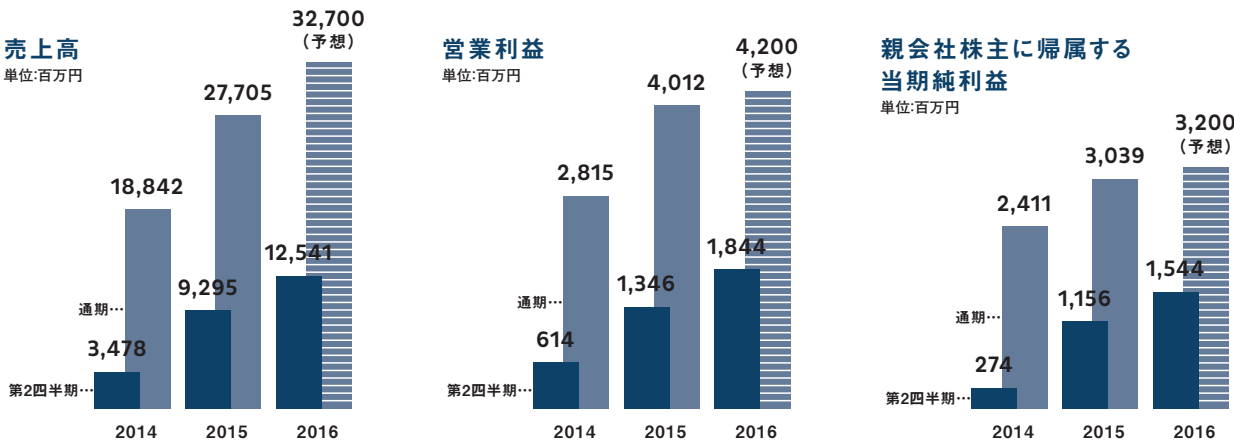
2016年通期業績予想

売上高	32,700百万円
営業利益	4,200百万円
経常利益	3,300百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,200百万円

業績ハイライト

多面的な不動産ビジネスを展開し、順調に推移。

分譲事業を中核に、収益不動産の販売、土地企画販売、宅地販売といった多面的な事業展開により、前年同四半期比、増収増益となりました。



HIGHLIGHT

株主様への還元

中期経営計画の最終年度である当期期末においては、1株当たり12円の配当、配当性向25.0%以上、総還元性向35.0%を予定しております。引き続き企業価値の最大化と株主様への還元に努めてまいります。

	2015年実績	2016年予想
1株当たり配当	8円	12円
配当性向	17.9%	25.0%以上
総還元性向	30.2%	35.0%

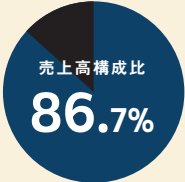
次期の取り組み

中核事業である分譲事業を着実に推進するとともに、自社販売体制を確立し、お客様からより多くの信頼を得られる商品力、サービスの向上を目指します。

商業開発、ホテル開発事業のさらなる強化、オペレーション能力の強化により、多面的な不動産ビジネスを展開し、さらに、J-REIT市場上場への取り組みにより、一層の企業価値向上に努めてまいります。

DEVELOPMENT

不動産販売事業



中核事業である不動産販売事業においては、
分譲マンション販売も順調に推移し、111戸の引渡しを行うとともに、
販売用不動産の販売等を行った結果、売上高10,871百万円(前年同四半期比36.7%増)、
セグメント利益1,861百万円(同52.3%増)となりました。
分譲事業については、通期の販売戸数計画516戸に対して
すでに現在438戸、約85%の契約進捗率を達成しており、順調に推移しております。
当期においては、分譲、商業、ホテル等多面的な開発予定地として、
首都圏8案件、近畿圏6案件その他地域5案件の新規事業用地の取得を行いました。
また、かねてより取り組んできた大型複合開発「福岡春日プロジェクト」の開発が全て完了しました。
分譲だけでなく複数のコア事業を確立させ、多面的な事業展開を今後も積極的に推進してまいります。

分譲事業2016年12月期引渡予定物件進捗状況

(2016年6月末時点)

(単位:戸)

分譲事業	所在地	総戸数	2016年12月期 第2四半期引渡数
レ・ジェイド葛西	東京都江戸川区	48	合計 111 (同期末在庫 70)
Park JADE杉並和泉	東京都杉並区	18	
Park JADE赤塚公園	東京都板橋区	12	
グラン レ・ジェイド夙川苔楽園口	兵庫県西宮市	71	
レ・ジェイド武蔵境	東京都武蔵野市	25	8月全戸引渡済
レ・ジェイド南葛西	東京都江戸川区	33	
レ・ジェイド豊田	東京都日野市	53	8月引渡
レ・ジェイド世田谷站	東京都世田谷区	25	10月下旬引渡予定
レ・ジェイド武蔵野レジデンス	東京都武蔵野市	25	10月下旬引渡予定・契約完売
レ・ジェイド西田辺阿倍野阪南町	大阪市阿倍野区	38	11月下旬引渡予定・契約完売
レ・ジェイド横濱鶴見	神奈川県横浜市	45	12月下旬引渡予定・契約完売
レ・ジェイド高槻	大阪府高槻市	136	12月下旬引渡予定
レ・ジェイド南葛西パークアリーナ	東京都江戸川区	35	

分譲引渡、契約進捗状況

(2016年8月時点)

(単位:戸)

2016年12月期(当期)

計画	契約戸数 (引渡含む)	対計画進捗率
516	438	84.9%

分譲事業以外販売物件

(2016年6月末時点)

分譲事業以外	保有状況	事業スキーム
大阪市中央区島町	賃貸レジ	賃貸レジの売却
福岡春日7工区	宅地	宅地販売
茅ヶ崎市美住町	土地	土地販売
高槻市城西町	土地	土地販売

売上高

第2四半期

10,871百万円

分譲事業 5,194百万円
分譲事業以外 5,676百万円

通期(予想)

29,450百万円

分譲事業 22,800百万円
分譲事業以外 6,650百万円

セグメント
利益

第2四半期

1,861百万円

分譲事業 419百万円
分譲事業以外 1,442百万円



グラン レ・ジェイド夙川苔楽園口



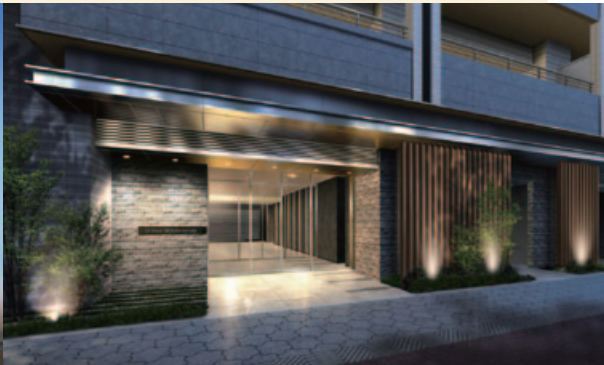
レ・ジェイド武蔵野レジデンス



レ・ジェイド高槻



レ・ジェイド世田谷站

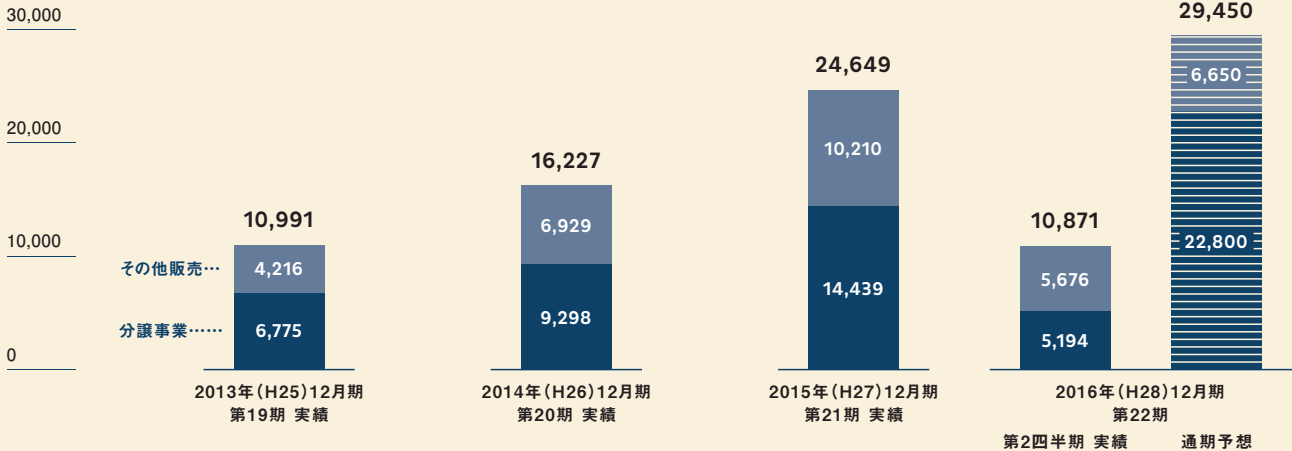


レ・ジェイド西田辺阿倍野阪南町

DEVELOPMENT
不動産販売事業の推移

分譲事業につきましては、首都圏・近畿圏を中心に、ハードの開発だけではなく、暮らしを開発する“ライフ・デベロッパー”として、こだわりのある企画により競争力のある商品づくりを行い、毎年500～600戸を安定供給いたします。また、分譲だけではなく、時代を先ゆくホテル開発、商業開発と多面的な開発事業を展開し、他社との差別化を図ってまいります。

(単位:百万円)



分譲事業	ネバーランド難波パークエアー	近畿圏
	ネバーランド阿倍野西田辺	近畿圏
	ネバーランド阿倍野昭和町	近畿圏
	ネバーランド分譲プラザ	近畿圏
	リーフクリエイトフィールシティ	近畿圏
	レジェイド上北沢	首都圏
分譲引渡戸数		224戸(実績)

分譲事業	レジェイドイクス	近畿圏
	レジェイド江坂	近畿圏
	ネバーランド姫路駅前	近畿圏
	サステーションフロント	近畿圏
	ネバーランド弁天町	近畿圏
	はぐみの街	近畿圏
分譲事業	レジェイド下目黒	首都圏
	レジェイド東向島	首都圏
分譲引渡戸数		309戸(実績)

分譲事業	ザ・ネバーランド明石	近畿圏
	ハーバーゲート	近畿圏
	グラン・レジェイド	近畿圏
	京都河原町	近畿圏
	レジェイド葛西	首都圏
	Park JADE杉並和泉	首都圏
分譲事業	Park JADE赤塚公園	首都圏
	レジェイド南葛西	首都圏
	レジェイド武蔵野レジデンス	首都圏
	レジェイド南葛西	首都圏
	パークアリーナ	首都圏
	レジェイド世田谷砦	首都圏
分譲引渡戸数		349戸(実績)

商業開発	収益不動産開発	枚方市大峰南PJ(商業底地)	近畿圏
土地企画販売			

神戸市赤松台PJ(商業底地)	近畿圏
淀川区東中島PJ(収益不動産)	近畿圏
西区鞠本町PJ(収益不動産)	近畿圏
江東区平野PJ(収益不動産)	首都圏

八尾市高美町PJ(商業底地)	近畿圏
淀川区宮原PJ(収益不動産)	近畿圏
京都六角PJ(収益不動産)	近畿圏
西区鞠本町PJ(収益不動産)	近畿圏
渋谷区本町PJ(土地企画)	首都圏
西東京市西原PJ(収益不動産)	首都圏

TOPICS

ホテル開発事業の
全国展開

現在我が国は、インバウンドによる訪日外国人旅行者の急増に加え、観光立国を目指す国家戦略としての取り組みや東京オリンピックを4年後に控えるなど、宿泊施設等が慢性的に不足する状況により様々な施策が検討されています。当社は不動産の総合デベロッパーとして、これらの問題解消の一助となるべく、有力なホテルオペレーターとタイアップし、当社が用地を取得し開発した後、ホテルオペレーターに一棟貸しを行い、安定した賃料収入を得るホテル開発事業に着手いたしました。既に東京、大阪、北海道、金沢と全国各地において多数のホテル開発事業用地を取得し、総客室数1,700室超となっております。今後も積極的に展開してまいります。

《ホテル開発予定プロジェクト》

- 東京都中央区日本橋茅場町
- 東京都中央区日本橋馬喰町
- 石川県金沢市尾山町
- 東京都千代田区隼町
- 大阪市中央区淡路町Ⅱ
- 大阪市中央区南船場Ⅱ
- 石川県金沢市堀川新町
- 大阪市中央区南船場Ⅲ
- 大阪市中央区平野町
- 北海道札幌市中央区
- 大阪市中央区淡路町Ⅰ
- 大阪市中央区南船場Ⅰ
- 大阪市中央区北久宝寺町
- 大阪市中央区淡路町Ⅲ
- 大阪市北区鶴野町



北海道札幌市

東京都中央区
日本橋馬喰町

大阪市中央区平野町

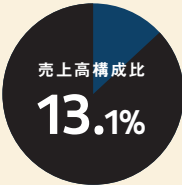
大型複合開発
「福岡春日プロジェクト」
開発完了

当社グループが2005年より開発を手掛けた福岡春日プロジェクトについて、今般全ての開発が完了しました。当該プロジェクトは開発総面積43haの大型複合開発で、既に約450戸の戸建住宅が立ち並び、今後さらに約200戸の戸建住宅が建設される予定です。またミスターマックスやナフコ、ケーズデンキなどの大型店舗に加え、多種多様な30数店の商業店舗と、充実した医療施設も開業し、地域の皆様に喜ばれる利便性と快適な住環境を兼ね備えた「街」を形成することができました。今後も様々な地域において、愛される魅力的な街づくりに取り組んでまいります。



MANAGEMENT

不動産賃貸事業



不動産賃貸事業においては、当第2四半期においても、
着実に賃料収入を積み上げ、売上高1,641百万円（前年同四半期比29.9%増）、
セグメント利益945百万円（同24.1%増）となりました。
今後も高収益物件を構築するとともに、保有・販売の両目線をもって機動的な事業展開を可能とする体制を確立し、
引き続き安定したストック収益事業として位置付け推進してまいります。
また、当社グループの次なる成長戦略の一環として、子会社株式会社エスコンアセットマネジメントにおいて、
リートの上場に向けた取り組みを行っており、今般商業施設の底地を主要な投資対象とする投資法人を設立しました。
優良な不動産を開発し、本投資法人への供給を通して、総合デベロッパーとしてのさらなる成長を図ってまいります。

売上高	第2四半期	1,641百万円
	通期(予想)	3,100百万円
セグメント利益	第2四半期	945百万円
	通期(予想)	1,710百万円

賃貸事業(保有物件)	所在地	保有状況
ガーデンモール清和台	兵庫県川西市	流動資産(販売用)
ガーデンモール南千里	大阪府吹田市	固定資産
イオン南千里	大阪府吹田市	固定資産
柏友会 楠葉病院	大阪府枚方市	固定資産
福岡春日プロジェクト	福岡県春日市	固定資産
オークタウン大和高田	奈良県大和高田市	流動資産(仕掛販売用)
神戸市西区王塚台	神戸市西区	流動資産(仕掛販売用)
堺市堺区大仙西	大阪府堺市	流動資産(仕掛販売用)
名張市桔梗が丘	三重県名張市	流動資産(仕掛販売用)
栃木県日光市	栃木県日光市	流動資産(仕掛販売用)
西白井	千葉県白井市	流動資産(仕掛販売用)



ガーデンモール南千里

ガーデンモール清和台

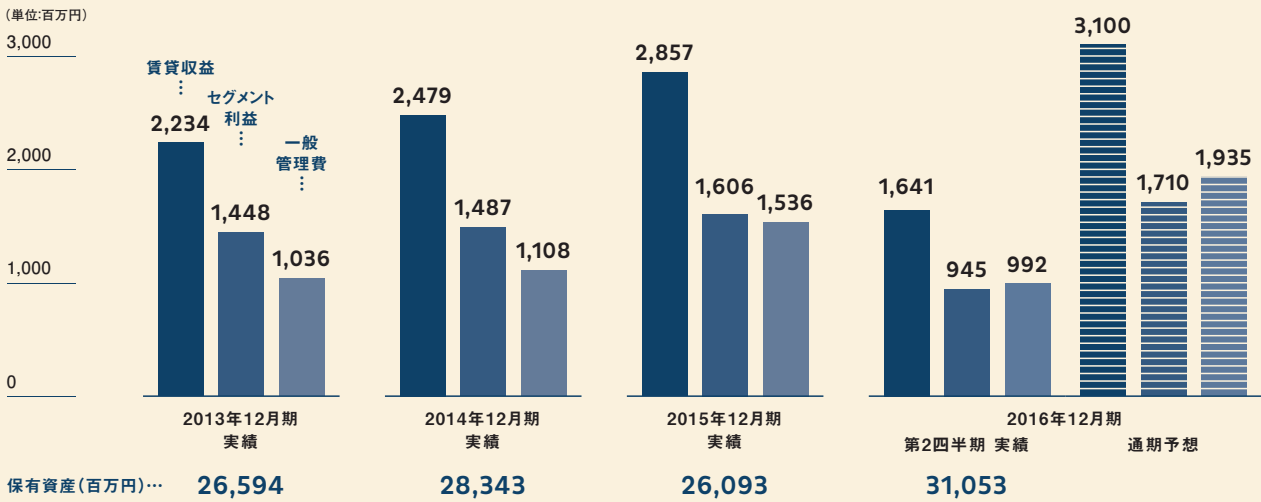


イオン南千里



MANAGEMENT

不動産賃貸事業の推移



CONSULTANT

不動産企画仲介コンサル事業

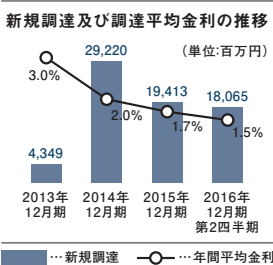
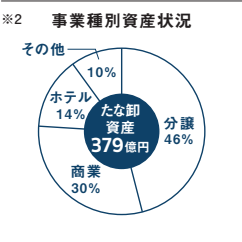


不動産企画仲介コンサル事業においては、
当社が強みとする企画力等を活かし、業務受託、企画仲介コンサル事業等
ノンアセットで利益率の高い事業として注力しております。
“ライフ・デベロッパー”としてハードの開発だけではなく、
人々の新たなライフスタイルを創出する不動産の総合デベロッパーとして
様々な不動産ビジネスに取り組んでおります。
2016年12月期第2四半期においては、企画力と多面的な事業構築力を
最大限に活かし、企画コンサル等の業務受託等に積極的に取り組みました。

売上高	第2四半期	28百万円
	通期(予想)	150百万円
セグメント利益	第2四半期	28百万円

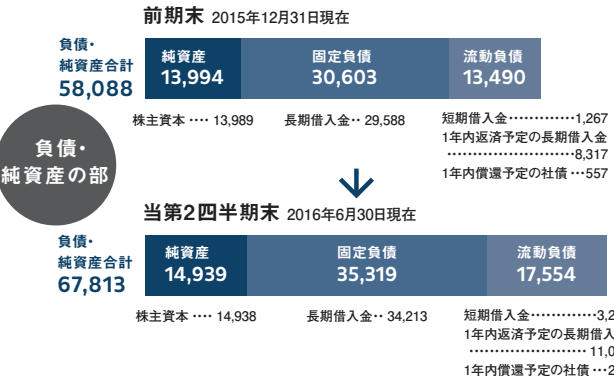
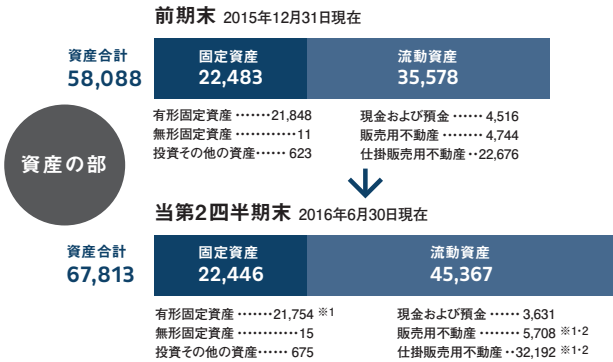
連結財務データ

- 分譲事業用地に加え、ホテル事業開発用地、商業開発用地等、多面的事業スキームによる用地を積極的に取得、たな卸資産は増加、事業種別資産状況においても分譲に加え、ホテル・商業開発用地がほぼ同割合となりました。
- プロジェクト資金調達も順調に推移、平均金利も着実に低下しています。



連結貸借対照表の概要

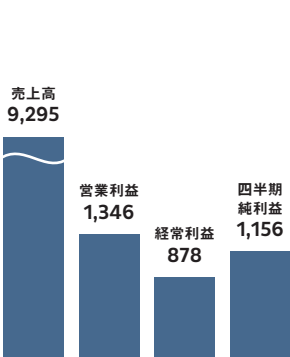
単位:百万円



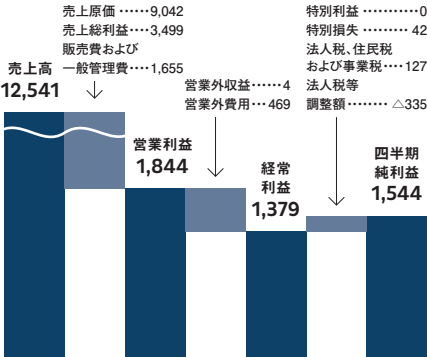
連結損益計算書の概要

単位:百万円

前第2四半期
2015年1月1日～2015年6月30日



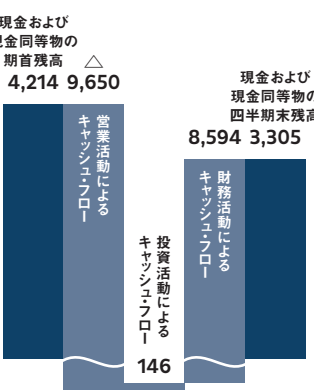
当第2四半期
2016年1月1日～2016年6月30日



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位:百万円

当第2四半期
2016年1月1日～2016年6月30日



Make The One for 2016

中期経営計画『Make The One for 2016』の進捗状況

中期経営計画『Make The One for 2016』も最終年度達成に向け、着実に推進中です。
2016年6月には東証1部指定変更も果たし、次なるステージへ確実に歩みを進めています。

業績計画

	2013年 (H25) 12月 第19期 (実績)	2014年 (H26) 12月 第20期 (実績)	2015年 (H27) 12月 第21期 (実績)	2016年 (H28) 12月 第22期	
				第2四半期 (実績)	通期 (予想)
売上高	13,558	18,842	27,705	12,541	32,700
不動産販売事業	10,991	16,227	24,649	10,871	29,450
不動産賃貸事業	2,234	2,479	2,857	1,641	3,100
不動産企画仲介コンサル事業	331	136	199	28	150
営業利益	1,844	2,815	4,012	1,844	4,200
経常利益	1,200	2,075	3,126	1,379	3,300
当期純利益	1,905	2,411	3,039	1,544	3,200

経営目標

	2013年 (H25) 12月 第19期 (実績)	2014年 (H26) 12月 第20期 (実績)	2015年 (H27) 12月 第21期 (実績)	2016年 (H28) 12月 第22期	
				第2四半期 (実績)	通期 (予想)
自己資本比率	21.9%	23.2%	24.1%	22.0%	30.0% 以上
ROE (自己資本利益率)	27.7%	22.7%	23.7%		13.0% 以上
ROA (総資産利益率)	2.7%	5.1%	5.6%		3.6% 以上
ROIC (投下資本利益率)	4.5%	6.7%	7.2%		6.4% 以上
EPS (1株当たり当期純利益)	31.14円	34.59円	44.65円		32円 以上
BPS (1株当たり純資産)	137.14円	169.05円	208.28円		245円 以上
配当性向	3.2%	8.7%	17.9%		25.0% 以上
配当	1円	3円	8円		12円
自己株式取得	—	299百万円	374百万円		
総還元性向	3.2%	21.0%	30.2%		35.0%
期末株価／1株	160円	189円	261円		336円
時価総額	11,160百万円	13,290百万円	18,404百万円	23,703百万円	

日本エスコングループの事業展開

分譲事業を中核事業とし、商業開発、ホテル開発、収益不動産開発等、
多面的な不動産ビジネスを展開する総合デベロッパー

IDEAL to REAL

—— 理想を具現化し、新しい未来を創造する ——

ハードの開発だけではなく、そこに暮らす人たちの幸せを思い描き、
暮らしそのものを開発する“ライフ・デベロッパー”を目指します。



インバウンドニーズに応え、ホテルオペレーターとタッグを組みながら全国主要都市にホテルを開発

グループ会社にて、J-REIT市場への
上場を目指す、「貯蓄から投資へ」
我が国の課題を当社グループの開発
力、運用力で貢献

ホテル
開発

投資運用

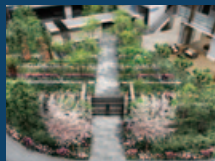
商業開発

分譲
(マンション・戸建)

収益不動産
開発



当社の企画力、これまで分譲事業で
培ったノウハウを活かし、新たな空間を
創出



中核事業として、競争力のあるこ
だわりの商品企画を提案し、安定
的に年間500～600戸を首都圏、
近畿圏を中心に供給

企画
コンサル

リノベ
ーション

当社の強みである企画力と、多面的な事業構築力を活かしたフィ
ー収益事業や、時代のニーズに応
えるリノベーション事業



福岡春日プロジェクトにおける商業開発の
実績、経験、ノウハウを駆使し、商業の底地
開発等を展開



総合デベロッパーとしてのノウハウと多面的な事業構築力を最大限に活かし、長期プロジェクトとなる土地区画整理、再開発といった、新たなまちづくり、暮らしを提案

土地区画
整理・
再開発



東京証券取引所第1部指定

今年6月23日に東京証券取引所第1部に指定変更を実現。着実に企業価値の向上を図るとともに
次なるステージへ確実に前進



いちごグループホールディングスとの 業務提携

当社と総合不動産サービス事業を展開するいちごグループホールディングス株式会社は、情報提供（当社はホテル開発事業案件、いちごグループホールディングス社は商業底地案件）を行うことにより、事業における相互の発展が見込めることから業務提携を行う

新会社「株式会社エスコンリビングサービス」設立

当社グループの次なる成長戦略の要のひとつとして、マンション管理、カフェ・ホテルオペレート、リノベーション事業等、オペレーション事業の創出・強化、あらたな付加価値を見出すことを目的に、新会社「エスコンリビングサービス」を設立

ホテル開発事業の積極展開

昨今のインバウンドによる訪日外国人旅行者の急増による慢性的な宿泊施設の不足、観光立国を目指す国家戦略等を鑑み、全国主要都市において積極的にホテル開発を展開

- 東京 3プロジェクト
 - 大阪 9プロジェクト
 - 北海道 1プロジェクト
 - 金沢 2プロジェクト
- 取得(予定)

計15棟 約1,700室の開発計画

簡易宿泊施設に関する業務提携

株式会社バルニバービが大津駅で手掛ける簡易宿泊施設「CALENDAR HOTEL」について、当社が事業出資し、経営の補助を行うことで、今後ホテル開発事業において、開発のみならずホテルオペレーターとしてのノウハウ等の蓄積につながることを考え、事業発展の可能性が見込まれることから株式会社バルニバービ社と業務提携を行う

自社販売体制の確立を目指し、 組織改正

「レ・ジェイド」ブランドを日本最高峰のマンションブランドにすべく、仕入れから販売まで“製販一体”型の体制をとり、お客様からの信頼をこれまで以上に獲得し、ブランド力の強化を図ることを目的に、開発事業本部内に販売を組入れる組織改正を実施

日本エスコングループの
直近の戦略的取り組み

会社概要 （2016年6月30日現在）

株式会社日本エスコンについて

設立	平成7年(1995年)4月18日
資本金	60億30百万円
売上高	277億5百万円(連結/2015年12月期)
従業員数	124名(連結) 94名(個別)

株式の状況

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式総数	70,544,887株
株主総数	7,768名

役員

代表取締役社長	伊藤 貴俊
常務取締役	明石 啓子
常務取締役	中西 稔
取締役	上田 博茂
取締役	江頭 智彦
取締役	菊地 潤也
取締役(監査等委員)	高橋 邦夫※
取締役(監査等委員)	溝端 浩人●※
取締役(監査等委員)	丹羽 厚太郎●※

●印の2名は独立役員 ※印の3名は社外取締役

大株主の状況 （2016年6月30日現在）

氏名または名称	所有株式数(株)	持株比率(%)
王 厚龍	10,600,000	15.6
日成ビルド工業(株)	6,500,000	9.6
(株)三愛ハウジング	6,090,000	9.0
(株)正龍アセットマネジメント	3,000,000	4.4
(株)正龍アミューズメント	3,000,000	4.4
(株)正厚レジャー	3,000,000	4.4
(株)天満正龍	3,000,000	4.4
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	2,092,900	3.1
(株)エヌエスコポレーション	1,360,300	2.0
伊藤 貴俊	987,000	1.5

(注) 1.当社は自己株式を2,794,100株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

株主優待制度に関して

対象となる株主様

毎年6月30日を基準とし、10単元(1,000株)

以上を1年以上継続保有されている株主様

1年以上継続保有とは、基準日(6月30日)の株主名簿に記載され、毎年12月31日、3月31日、6月30日及び9月30日の株主名簿に同一の株主番号で連続して5回以上記載または記録されていることといたします。

株主優待の内容

以下の区分により、クオカードを年一回贈呈いたします。

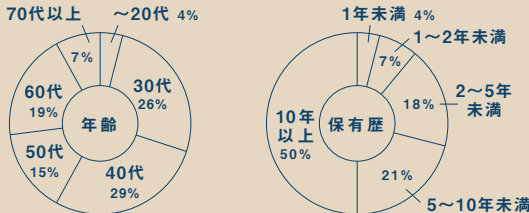
継続保有期間			
保有株式数	1年以上2年未満	2年以上	
1,000株以上 10,000株未満	クオカード 1,000 円分	クオカード 3,000 円分	
10,000株以上	クオカード 3,000 円分	クオカード 10,000 円分	

株主様アンケート結果のご報告

本年3月～5月に実施しました株主様へのアンケートについて、ご回答いただき、誠にありがとうございました。
その結果の一部をご紹介します。

ご回答いただきました株主様

ご回答いただきました株主様は、30代、40代、60歳以上の方がそれぞれ25%以上であり、幅広い世代の方からご支援いただいております。
保有歴につきましては10年以上の長期保有の株主様が約50%となっております。



ご意見

- 安定成長と株主還元を期待します。
- 魅力的な商品企画と品質で他社との差別化を徹底してほしい。
- 地域に根差しつつ、素敵なデザインのマンションだなと感じました。
- 株価については評価不足だと思っています。株価上昇を願っております。
- ホテルなどマンション以外の事業の拡充を期待します。
- マイナス金利の恩恵も受ける業界ですし、不動産の流動化と住みやすい街作りに貢献している御社を応援したい。

当社に魅力を感じている点

将来性	48%
配当利回り	39%
収益性	35%
事業の内容	24%
株主優待	24%
安定性	15%
直近の業績	11%

貴重なご意見、多くの声援と期待を頂戴し、ありがとうございました。
今後も株主の皆様のご期待にそえるよう努力してまいります。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、

アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **8892**

いいかぶ 検索

 空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL: 03-5777-3900(平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com